

県内初！※1

“公共施設の更新問題”への理解を一層深めます！ -「新しい公共施設のあり方」を学ぶ“広報用DVD”を新たに作成-

本市では、平成25年4月に、県内の他市町村に先駆け、公共施設の更新問題に対応する担当部局を設置しました。平成26年2月には「鳥取市公共施設白書」を策定し、公共施設を取り巻く現状や課題について市民への情報提供を行うとともに、翌年2月には、外部有識者の意見や市民アンケートの結果を元に、「鳥取市公共施設の経営基本方針」を策定し、本市の新しい公共施設経営に向けた考え方を提示してまいりました。

また平成27年12月には、総務省から策定要請のあった「公共施設等総合管理計画」の策定を完了しました。

本年3月24日には、「基本方針」に基づいた「鳥取市公共施設再配置基本計画」を策定し、今後は、具体的な公共施設の見直し検討を進めてまいります。この度、多くの市民に「公共施設の更新問題」を身近な課題として捉えていただけるよう、分かりやすく、学校や地域での学習にも活用できる“広報用DVD”を作成しました。

このDVDを活用することで、本市における個別施設の基本的な方向性や見直し検討の考え方などについて、より一層の理解が深まるものと考えております。

記

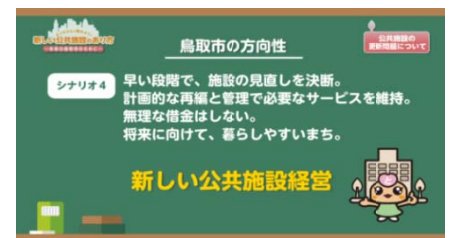
- 1 タイトル とっとりんと考えよう！ 新しい公共施設のあり方
～未来の鳥取市のために～



- 2 主な内容
- ①公共施設の更新問題について
 - ②鳥取市の取り組みを知る
 - ③先進地の事例を知る
 - ④複合化した施設の魅力
 - ⑤まとめ



とっとりん※2



- 3 配布先 各小中学校、中央・気高・用瀬図書館、各地区公民館
※市公式ウェブサイトから閲覧可能 (3月25日UP)

- 4 ねらい
- ①これからの鳥取市を担う次の世代に更新問題を身近な課題として知っていただくため、小中学校の授業で活用できる内容としています。(出前授業の開催に向けて調整中)
 - ②平成28年度から、地域内の公共施設のあり方を自発的に考えていただけるグループを募集し、活動を支援します。こうしたグループの検討の場においてもご活用いただくことを想定しています。

③公共施設の見直しに関する全国規模の会議である「自治体等ファシリティマネジメント連絡会議」が、本年7月に本市で開催されることに先駆け、“広報用DVD”を作成することにより、取り組みの機運を醸成します。

- 5 その他
- ※1 “公共施設の更新問題等”をテーマにしたDVDを作成し、市民に貸し出す事例は確認できませんでした。(自治体等FM連絡会議事務局に確認)
 - ※2 とっとりんは、平成26年5月に本市の“公共施設のあり方を考えるキャラクター”として決定したものです。(デザインは公募)